

日本赤十字社神奈川県支部現勢

令和4年4月1日現在

日本赤十字社の使命		わたしたちは、 苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、 いかなる状況下でも、 人間のいのちと健康、尊厳を守ります。		日本赤十字社スローガン		人間を救うのは、人間だ。	
				赤十字の基本原則		人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性	
1949年のジュネーブ四条約締結国		196カ国		世界の赤十字社・赤新月社等		192社	
区分 内容		日本赤十字社(全国)		神奈川県支部			
1 沿革		1877年(明治10年)5月 1日 博愛社設立 1887年(明治20年)5月20日 日本赤十字社に改称 1952年(昭和27年)8月14日 日本赤十字社法制定		1887年(明治20年)12月20日 日本赤十字社神奈川県支部設立 (当時は神奈川県委員部)			
2 名誉総裁・ 名誉副総裁		名誉総裁 皇后陛下 名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下 常陸宮殿下・同妃華子殿下 三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下 高円宮妃久子殿下					
3 会員		個人 20 万人 法人 8.5 万法人		個人 1万502 人 法人 3,533 法人			
4 評議員		2,004 人		72 人			
5 代議員		223 人		6 人			
6 役員		社長 清家 篤 (常勤) 副社長 鈴木 俊彦 (常勤) 十倉 雅和 (非常勤)  理事 61 人 監事 3 人 (令和4年7月1日現在)		支部長 黒岩 祐治 (神奈川県知事) 副支部長 首藤 健治 (神奈川県副知事) 上野 孝 (県商工会議所連合会会頭) 監査委員 伊藤 仁 (元神奈川県出納長) 石井 邦夫 (元神奈川新聞厚生文化事業団専務理事・事務局長) 古谷 幸治 (元神奈川県公営企業管理者・企業庁長) 参与 橋本 和也 (神奈川県福祉子どもみらい局長) 佐藤 広毅 (横浜市健康福祉局長) 宮脇 護 (川崎市健康福祉局長) 河崎 利之 (相模原市健康福祉局長)			
7 国際活動		(1) 国際救援・開発要員派遣 8 カ国 のべ 26 人 (2) 国際赤十字・赤新月社連盟出向 3 人 (スイス、マレーシア) (3) 国際活動費 42 億円		(1) 国際救援・開発要員等派遣 0 カ国 0 人 (2) 安否調査 0 カ国 0 件 (3) 国際交流 派遣： 0 カ国 0 人 受入： 0 カ国 0 人 オンライン： 1 カ国 11 人 (4) 海外救援金受付 344 件 2,590万5,190 円 (5) 国際救援・開発協力支出額 500 万円 (ラオス、バングラデシュ、ルワンダ)			
8 国内災害救護		(1) 常備救護班 485 班 4,954 人 (2) 無線局 3,184 局 (3) 救護車両 1,829 台 (4) 赤十字飛行隊(特殊奉仕団) 103 人 (5) 災害等における救護員出動数 1,690 人 (6) 取扱義援金額 20億8,599万2,926 円 (7) 配分救援物資(毛布・緊急セット等) 1万3,297 個		(1) 常備救護班 15 班 102 人 (2) 無線局 137 局 (3) 救護車両 70 台 (4) 防災ボランティア 394 人 (5) 火災・風水害・床上浸水援護世帯 243 世帯 (6) 取扱義援金額 1,716万1,444 円 (7) 配布援護物資(毛布・タオル・石鹸等の日用品) 263 個			
9 救急法等講習		(1) 救急法基礎講習 指導員 10,806 人 受講者 19,580 人 (2) 救急法 指導員 6,863 人 受講者 193,142 人 (3) 水上安全法 指導員 1,486 人 受講者 18,813 人 (4) 雪上安全法 指導員 212 人 受講者 125 人 (5) 幼児安全法 指導員 2,245 人 受講者 34,204 人 (6) 健康生活支援講習 指導員 1,716 人 受講者 20,051 人 計 指導員 23,328 人 受講者 285,915 人		(1) 救急法基礎講習 指導員 779 人 受講者 904 人 (2) 救急法 指導員 489 人 受講者 7,458 人 (3) 水上安全法 指導員 135 人 受講者 357 人 (4) 雪上安全法 指導員 19 人 受講者 0 人 (5) 幼児安全法 指導員 136 人 受講者 1,082 人 (6) 健康生活支援講習 指導員 84 人 受講者 846 人 計 指導員 1,642 人 受講者 10,647 人			
10 看護師等の教育		(1) 看護師 17 校 1,195 人 (2) 助産師 6 校 88 人 (3) 保健師 6 校 149 人 (4) 幹部看護師 1 校 120 人 (5) 介護福祉士 1 校 30 人		(1) 県内赤十字病院における奨学金貸与事業への支援 1,128 万円			
		※一学年養成定員					

<div>区分 内容</div>	日本赤十字社(全国)	神奈川県支部
11 医療事業  (※1)平成17年4月1日から横浜市立みなと赤十字病院が開院－横浜市が設置し、横浜市の指定管理者として、日本赤十字社が運営  (※2)平成22年4月1日から相模原市の指定管理者として、相模原市立診療所(青野原・千木良・藤野)を日本赤十字社が運営。(平成22年3月31日までは、3診療所は神奈川県立)	(1) 施設 病院 91 診療所 5 老人保健施設 5 介護医療院 5 (2) 病床総数 35,028 床 (3) 入院患者 956 万人 (1日平均 2.6 万人) (4) 外来患者 1,514 万人 (1日平均 6.2 万人)	(1) 横浜市立みなと赤十字病院(※1) ( 634 床、実働 634 床 ) 入院患者 161,686 人 (1日平均 443 人 ) 外来患者 266,752 人 (1日平均 1,102 人 ) 病床利用率 69.9 % (2) 秦野赤十字病院 ( 320 床、実働 262 床 ) 入院患者 69,562 人 (1日平均 191 人 ) 外来患者 114,461 人 (1日平均 473 人 ) 病床利用率 72.7 % (3) 相模原赤十字病院 ( 132 床、実働 132 床 ) 入院患者 30,590 人 (1日平均 84 人 ) 外来患者 87,190 人 (1日平均 325 人 ) 病床利用率 83.8 % 診療所(青野原・千木良・藤野)(※2) 外来患者 13,376 人 (1日平均 55 人 )
12 血液事業	(1) 血液センター 47 附属施設 170 (2)ブロック血液センター 7 附属施設・分室 5 (3) 車両 移動採血車 278 台 献血運搬車 854 台 (4) 献血者数 成分献血 164 万人 400mL献血 328 万人 200mL献血 12 万人 計 505 万人 (5) 供給本数 輸血用製剤 1,725 万本	(1) 血液センター(神奈川県) 1 附属施設(湘南事業所) 1 (2) 出張所(献血ルーム) 8 (横浜駅東口、横浜駅西口、横浜駅西口第二、二俣川、川崎駅東口、溝の口、藤沢、本厚木) (3) 車両 移動採血車 12 台 献血運搬車 39 台 (4) 採血本数 成分献血 11万2,885 本 400mL献血 20万2,619 本 200mL献血 9,791 本 計 32万5,295 本 (5) 供給本数 赤血球製剤 21万1,747 本 血漿製剤 6万3,744 本 血小板製剤 5万1,246 本 計 32万6,737 本
13 赤十字ボランティア	(1) 地域赤十字奉仕団 2,107 団 1,097,423 人 (2) 青年赤十字奉仕団 149 団 5,387 人 (3) 特殊赤十字奉仕団 630 団 29,324 人 (4) 個人ボランティア 12,000 人 計 2,886 団 1,144,134 人	(1) 地域赤十字奉仕団 51 団 17,863 人 (2) 青年赤十字奉仕団 5 団 292 人 (3) 特殊赤十字奉仕団 37 団 1,736 人 計 93 団 19,891 人
14 青少年赤十字	(1) 幼稚園・保育所 1,784 校 149,352 人 (2) 小学校 7,076 校 1,953,430 人 (3) 中学校 3,495 校 978,908 人 (4) 高等学校 1,772 校 361,188 人 (5) 特別支援学校 203 校 21,097 人 (6) その他 111 校 28,678 人 計 14,441 校 3,492,653 人 指 導 者 243,861 人	(1) 幼稚園・保育園 10 園 1,019 人 (2) 小学校 30 校 11,513 人 (3) 中学校 40 校 10,088 人 (4) 高等学校 45 校 9,824 人 (5) 特別支援学校 8 校 916 人 (6) その他 0 校 0 人 計 133 校 33,360 人  ※一貫教育校は中学校・高等学校の2校種でカウント
15 社会福祉事業	(1) 乳児院 8 ( 定員 291 人) (2) 保育所 3 ( 定員 368 人) (3) 児童養護施設 1 ( 定員 40 人) (4) 医療型障害児入所施設 3 ( 定員 286 人) (5) 特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む) 8 ( 定員 773 人) (6) 障害者支援施設 1 ( 定員 50 人) (7) 視聴覚障害者情報提供施設 2 (8) 補装具製作施設 1 (9)複合型施設 1 特別養護老人ホーム ( 定員 110 人) 介護老人保健施設 ( 定員 100 人) 高齢者グループホーム ( 定員 18 人) 障害者支援施設 ( 定員 10 人)	(1) 神奈川県ライトセンター(視覚障害者支援施設) (神奈川県指定管理者制度に基づき日本赤十字社が運営) ① 情報提供事業 ② 指導訓練事業 ③ スポーツ振興事業 ④ ボランティア育成事業 ⑤ 普及啓発事業
16 施設・職員数	区分 施設数 職員数(人) 本社 1 536 人 支部 47 696 人 医療施設 118 59,356 人 血液事業施設 229 5,849 人 社会福祉施設 28 1,137 人 計 423 67,574 人 (正規職員のみ)	日本赤十字社神奈川県支部 32 人 横浜市立みなと赤十字病院 1,194 人 秦野赤十字病院 423 人 相模原赤十字病院 272 人 神奈川県赤十字血液センター 389 人 神奈川県ライトセンター 33 人 計 2,343 人
17 会計	(1) 一般会計 本社 200 億 4 千万円 支部 198 億 7 千万円 (2) 医療施設特別会計 1兆1,515 億 9 千万円 (3) 血液事業特別会計 1,612 億 6 千万円 (4) 社会福祉施設特別会計 156 億 1 千万円  (令和4年度当初予算)	(1) 一般会計(支出) 日本赤十字社神奈川県支部 11億5,097万7,610 円 (2) 医療施設特別会計(収益的支出) 横浜市立みなと赤十字病院 205億2,179万1,706 円 秦野赤十字病院 65億9,125万4,702 円 相模原赤十字病院 33億9,001万1,908 円 (小計) 305億305万8,316 円 (3) 社会福祉施設特別会計(支出) 神奈川県ライトセンター 3億1,149万2,686 円 (令和3年度決算)

(特に断りのない統計数字等は、令和4年3月31日現在・令和3年度実績)